

クエストラ：クラウド型ワークフロー、アウトソーシング事業向け機能を強化 ～複数の入力データ同士を比較したフロー制御を実現～

SaaS ベンダーの株式会社クエストラ(京都市、代表執行役 CEO 今村元一)は12月17日、「業務の流れ図」と「各案件の進捗」をともに可視化できるクラウド型ワークフロー製品『Questetra BPM Suite』の新バージョン9.3を公開しました。新バージョンでは、ビジネス・プロセス・アウトソーシング事業者様(BPO 受託事業者様)向けの機能を強化しています。

BPO 受託工程では、納品データの品質向上を図るべく、業務プロセス中に「複数データを照合する工程」が設置されます。例えば「アンケート」や「応募ハガキ」などのアナログ原稿やイメージ写真中の文字情報をテキストデータ化するシンプルな受託業務であれば、独立2者がテキストデータを入力し、その入力された2つのテキストデータの同一性を検証する工程が設定されます。(ペリファイ入力方式)



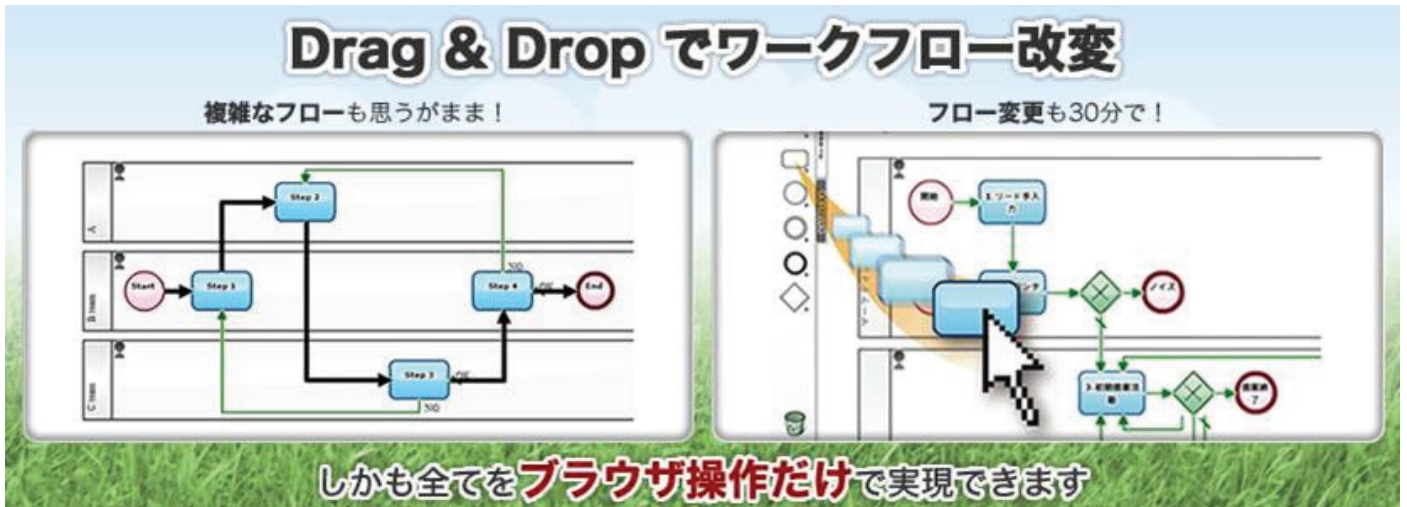
バージョン9.3以前では、「{請求額}が「100万円」未満」や「{自宅住所欄}が「京都府」で始まりかつ「中京区」を含む」と言った、単項評価による分岐条件式しか設定できませんでした。新バージョン9.3では「{請求額}が{見積額}より大きい」や「{自宅住所欄}と{勤務先住所欄}が同じ」と言った、2項比較による分岐条件式も設定可能となります。BPO 受託事業者様を始めとして、社内に「データ検証工程」を持つ事業者様は、今後、より多くの検証工程を自動化させることが可能となります。

サンプル画像⇒ <http://www.questetra.com/ja/info/outsourcing-workflow-20121218/>



【Questetra BPM Suite について】

ビジネス環境の変化、あるいはクラウド技術の浸透やモバイル端末の進化によって、あるべき業務プロセスは日々変化していきます。例えば、タブレットを活用した見積書作成承認の自動化、スマートフォンを活用したクレーム対応業務の迅速化、マニュアル作成業務の在宅勤務承認と言った、従来では考えられなかった様な「新しい業務の流れ」についても積極的に検証しなければなりません。



クラウド型ワークフロー『Questetra BPM Suite』は、業務の流れをインターネット上に構築できるサービスです。案件データをオンラインで受け渡して『ワークフロー機能』(タスク処理機能)だけでなく、進捗を可視化できる『モニタリング機能』や、業務の流れ自体を Drag&Drop で簡単に変更できる『モデリング機能』が標準で搭載されています。複雑な業務プロセスを迅速に IT 化できるだけでなく、「いつ・誰が・何をしたのか」と言う処理記録をグラフィカルに可視化できるようになります。プログラミング知識やサーバ運用知識は必要ありません。業務担当者が「業務滞留ポイント」や「ミス発生ポイント」を見て、業務の流れを自身で改善していく事(現場主導型の PDCA サイクル)も可能です。Questetra は、ヒューマンエラーの撲滅やペーパーレスの実現に貢献します。

- ※BPM: Business Process Management / 業務プロセス管理
- ※プロセス テンプレート: <http://ja.workflow-sample.net/> (BPMN 準拠)
- ※無料アカウントの申込: <http://www.questetra.com/ja/trial/>

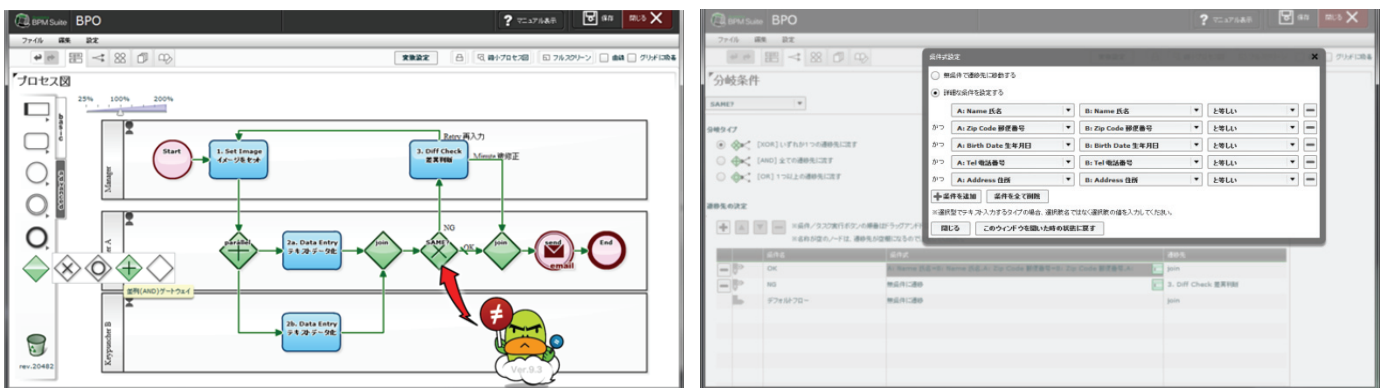
【2 項比較を自動化する方法】

1. 分岐アイコンの配置

業務の流れ図の中に分岐アイコン(ゲートウェイ)を Drag&Drop 操作で配置します。

2. 条件式の設定

分岐アイコンのプロパティからルール設定画面を開き、比較する業務データを選択します。



【クエストラ社について】

「日常業務をモット楽しく!!」世界中のワークフロー整備を目指し、ビジネスソフトウェアを創造し続ける京都のスタートアップ企業です。

- 商号: 株式会社クエストラ (Questetra, Inc.)
- 代表: 代表執行役 CEO 今村 元一
- 所在地: 京都市中京区御池通間之町東入高宮町 206 御池ビル 4 階
- 設立: 2008 年 4 月
- 資本金: 1 億 6 千万円
- URL: <http://www.questetra.com/>